

第52回 インド国際映画祭(ゴア)
金孔雀賞(最高賞)

第37回 ワルシャワ国際映画祭
エキキュメンカル賞 スペシャルメンション

第22回 東京フィルメックス
メイド・イン・ジャパン部門 正式出品

迷い込み、
巡り会う

漫画家志望の草介は、
不思議な娘ミドリとの出会いから、
東京に眠る記憶を知る。
過去と現在が織り交ざる、
切なく幻想的な物語。

金子雅和監督作品

リング・ワンダリング

笠松将

阿部純子 片岡礼子 品川徹 | 安田顕 | 田中要次 長谷川初範

伊藤駿太 横山美智代 古屋隆太 増田修一朗 細井学 友秋

石本政晶 桜まゆみ ホゴ鈴木 比佐仁 山下徳久 大宮将司 平沼誠士 伊藤ひろし 川綱治加来 納葉

製作:リング・ワンダリング製作委員会(monkey syndicate / ラフター / プロジェクトダウン / cinepos / kinone) 配給宣伝:ムービー・アクト・プロジェクト 配給協力:ミカタ・エンタテインメント

2021年 / 日本 / カラー / 5.1ch / 1.85 / DCP / 103分  ©2021 リング・ワンダリング製作委員会

ringwandering.com

忘れないで、私の姿…

漫画家を目指す草介は、絶滅したニホンオオカミを題材に漫画を描いているが、肝心のオオカミをうまく描けず前に進めない。そんなある日、バイト先の工事現場で、逃げ出した犬を探す不思議な娘・ミドリと出会う。転倒しケガをしたミドリを、彼女の家族が管む写真館まで送り届けるが、そこはいつも見る東京の風景とは違って…。草介はミドリとその家族との出会いを通じて、その土地で過去に起きたことを知るようになる。東京の土地に眠る、忘れられた人々の想いがよみがえる、幻想譚である。

**第52回インド国際映画祭(ゴア)で
金孔雀賞(最高賞)受賞!**
自然と人間の関係性を描いてきた監督・金子雅和が
はじめて向き合った東京とその土地の記憶。

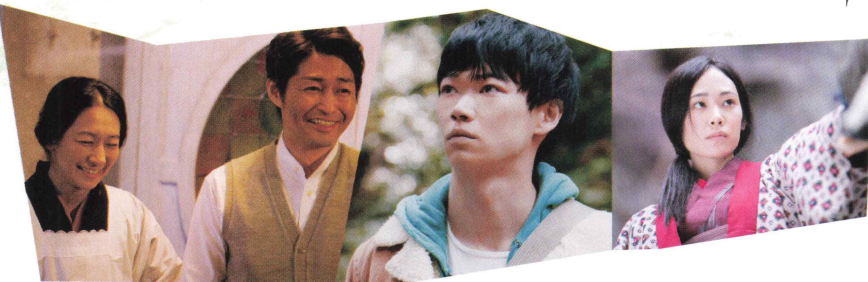
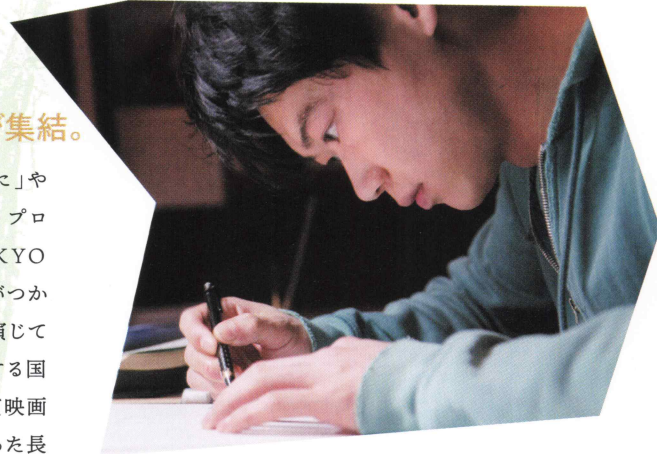


初長編監督作『アルピノの木』が海外映画祭で20の賞を獲得し注目された金子雅和監督。自然と人間の関係性を描いてきた監督が、はじめて東京を舞台に、町や人々の記憶と対峙した本作は、アジア最大級の映画祭、第52回インド国際映画祭(ゴア)で最高賞である金孔雀賞を受賞。日本映画の受賞は『あにいもうと』(今井正監督/76)、『鉄道員(ぽっぽや)』(降旗康男監督/99)について、史上3番目の快挙となった。美術監督は『Shall we ダンス?』(周防正行監督/96)で日本アカデミー賞最優秀美術賞受賞の部谷京子、劇中漫画は水で書きそこに墨を落とす技法が特徴で『花筐/HANAGATAMI』(大林宜彦監督/17)の宣伝ビジュアル画を担当した森泉岳土が務め、現実と幻想が入り交ざる世界観を作り上げた。



主演はいま最も勢いのある若手俳優・笠松将。
ヒロインに阿部純子。
さらに、安田顕、長谷川初範など実力派俳優陣が集結。

主人公・草介を演じる笠松将は日本テレビ系「君と世界が終わる日に」やNetflix「全裸監督 シーズン2」、マイケル・マンがエグゼクティブ・プロデューサーと第1話を監督するWOWOWのドラマシリーズ「TOKYO VICE」など話題作への出演が続き、注目を集める若手俳優。地に足がつかず漠然とした不安を抱える現代の若者のリアルを、絶妙なバランスで演じている。ミドリと梢の二役を演じる阿部純子は海外作品にも多数出演する国際派。本作では、幻想世界のヒロインの神秘性を体現した。ほか、主演映画が相次ぐ安田顕、金子監督の初長編『アルピノの木』でも存在感を放った長谷川初範、日本映画界に欠かせない片岡礼子らが脇を固める。



リング・ワンダリング

笠松将
阿部純子 片岡礼子 益州敬 田中夏次
安田顕 長谷川初範
脚本:金子雅和 吉村元裕 劇中漫画:森泉岳土
音楽:富山優子 撮影:古塚幸一 美術:部谷京子
照明:吉川慎太郎 録音:岩間翼 監音:黄永昌
VFXスーパーヴァイザー:高橋昂也
監督/編集:金子雅和
製作:リングワンダリング製作委員会(monkey syndicate)
ラフター・プロジェクト・ドーン/linepos(リンポス)
配給宣伝:ムービー・アワード・プロジェクト 配給協力:ミカタエンタテインメント
2021年/日本/カラー/5.1ch/1:1.85/DCP/103分 (R16)
©2021リングワンダリング製作委員会

ringwandering.com

twitter

@ringwandering_

facebook

@Ringwandering.movie

4.2(土)より幻想のロードショー

当日一般1,800円/会員1,200円/大専・シニア1,100円/高校生以下800円

横浜 R16長者町5丁目交差点沿
シネマリン
045-341-3180
www.cinamarine.co.jp

